

文京三中だより



教育目標 自ら考え、進んで学ぶ人 思いやりのある、心豊かな人 ねばり強く、心身ともにたくましい人

文京区立第三中学校 〒112-0003 東京都文京区春日1-9-31

電話 03-3814-2554 FAX 03-5689-4556 HP <http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/daisan-jh/>

「感謝の心」

校長 阿部 昭彦

毎年この時期になると思い出すことがあります。もう40年以上前のことです。

私の父は、職人で仕事にも家庭にも大変厳しい人でした。高校受験合格発表の日の思い出です。

合格発表の日、私は中学校に普段通り登校し、諸注意を受け発表会場に向かいました。今でも発表を見るまでのドキドキ感は忘れません。結果は合格でした。当時は携帯電話もありませんでしたので、自宅には連絡をしませんでした。高校で必要な書類を受け取り、中学校に戻って先生方に報告をしました。どの先生もみんな笑顔で「おめでとう。」と言ってくれました。なかには「テニスばかりしていたのによく受かったな。」と満面の笑みのテニス部顧問からも言われました。私は先生方にお礼を言い帰宅しました。

まず、帰宅して驚いたのは、父が家にいたことです。滅多に仕事を休まない父でしたが、家にいたのです。父に促されるように父の前に正座をして（父と話すときはいつも正座でした）、合格の報告をしました。父は一言「頑張ったな。」と言い、すぐに電話を取りました。どこへ電話をするのか私にはわかりませんでした。相手が出た電話に向かって、「先生、本当にありがとうございました。今、息子から合格を聞きました。いろいろとご指導ありがとうございます。校長先生にもよろしくお伝えください。」と言い受話器を持ったまま電話に向かって深くお辞儀をしました。

私は、普段見ていた父とは違う父を見て、呆気にとられていました。そんな父が受話器を置き、私に向かって「お前も頑張ったが、周りの人はその頑張りを助けてくれた人だ。その人たちに感謝をするのは当たり前のことだ。やってもらって当たり前と考えるなよ。」と言いました。私は父の言葉や行動で「感謝の心」を学びました。

受験の時期、学校は「感謝の心」を生徒に教えます。この「心」はこれから成長する生徒たちにとって大切な「心」だと私は考えます。「やってもらって当たり前」ではなく「ありがとうございます。」と言える生徒を育てたいと思います。



2月は「情報セキュリティー」月間です。

子どもたちのスマホやPC等によるSNSの使い方が問題になっていることはご存じかと思います。「まさかうちの子に限って・・・」と考えてしまいがちですが、その前にご家庭で以下のことを話題としてはいかがでしょうか。

- ① SNSへの書き込みの影響
- ② 肖像権・プライバシー権の侵害
- ③ 誹謗中傷、
- ④ SNSでの友達作り
- ⑤ 金銭に関わる問題
- ⑥ 法律違反や権利侵害

各ご家庭でのルール作りも大切です。

三中の新しい体操着完成！！

現在使用している体操着が古い素材で汗をかいても乾燥しづらく、また、生徒の体型にも合っていない、今後製造もされないという理由で、来年度より新しい体操着になります。汗をかいてもすぐに乾き、薄い素材ですが風も通しにくい素材になっています。三中



カラーの緑を配色したデザインです。バックプリントは、PTA副会長の豊田さんにもデザインを考えていただきました。シンプルな中にも三中らしい爽やかさが感じられる体操着となりました。

鎌倉校外学習（2年校外学習）

2月5日（火）に2年生の鎌倉校外学習が行われました。今回の校外学習は3年になってからの修学旅行の事前段階となります。実行委員が多くの時間を使ってルール等を話し合い当日を迎えました。さすが2年生という行事でもあり、今後、生徒たちが考える課題も見えた行事でした。



都内巡り（1年生校外学習）

1月31日（木）は1年生の都内巡りが行われました。行動時に少し気が緩むときに班長が声掛けを行うなど、班長さんたちの努力を見ることができました。この行事は一人一人が頑張った行事となりましたが、その頑張りをまとめた班長さんたちに、拍手を送りたいと思います。



3年生の今

3年生は、私立入試も終え発表があり、めでたく私立高校に合格した人がいます。しかし、希望の私立高校に合格できず、今後入試がある人。都立高校の学力検査に備えている人がいます。入試は「団体戦」と言われています。合格した人は、これからを待つ人に何をしたらいいのか、全員の進路が決まるまでお互いにするのか、全員が決まった後に全員すべきことは何か。3年間一緒に生活した仲間を大切にするのは今です。みんなで入試を待つ人を応援しましょう！



いじめ防止教室

2月6日（水）第一東京弁護士会より、弁護士である出口貴大さんを講師にお迎えし、「いじめ防止教室」が開かれました。ワークシートを使い、「いじめとは」「いじめられた人の思い」「いじめが事件となると」

「いじめを止めるために」など出口さんの弁護士としての体験からお話をいただきました。最初は少しざわついた生徒たちですが、真剣に話を聞き、話し合い活動も行われました。

